

今回の展示はカンティ（Càntir）と呼ばれる壺を作成しました。
カタルーニャ語でカンティ、スペイン語ではポティホと呼びます。

カンティとは、素焼きの水容器のこと。

気化熱を利用した仕組みで、乾燥した環境下で使うと、中に入れた水が
カンティの外壁の小さな隙間からにじみ出ていきます。汗をかくイメージ。

こうすることで、カンティ全体を水滴が覆い、中の水を冷ますという仕組み
になっています。いわば天然の冷蔵庫ですね。

スペイン・カタルーニャはとても乾燥していて、暑い国。そして日本では
考えられないくらい雨が降りません。水はとても貴重なものなので、カンテ
ィに入れ、冷まして皆で分け合って飲んでいたそうです。お互いを思いやり
ながら、水を分け合って生活をしていく。日本でもとても大事にされている
思いやりの気持ちがこのカンティにはあります。

今回の展示で、スペインと日本の共通点も見つけてもらえると嬉しいです。

水を入れる

